

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム サンハイツ青山

作成日: 平成30年10月25日

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	ホーム内の非常口付近にはドアの開閉に支障が無いよう物品を置かない事が望まれる。また、災害時の地域の避難場所としても検討されているので、現状での備蓄品の保管管理体制については、引き続き法人と検討する事に期待したい。	災害に対する防災意識を持ち、地域の避難場所としての役割を果たす。	・非常口の避難経路に置いている物品は早急に撤去する。 ・地域の方々との避難訓練を重ね、お互いの役割を明確にし、協力し合える体制を強化する。 ・備蓄に関しては、地域の避難場所としての役割を果たす為にも不可欠であるので、法人が中心となり検討する。	12ヶ月
2	36	職員の入居者への言葉かけや対応については、改めて尊厳のある対応が出来ているかを振り返るとともに、若手職員の人材育成については、管理者の指導のもと、重点的に取り組む事が望まれる。	法人の理念である「ご利用者様のゆたかに安らかに自分らしい生活」の実現の為、ご利用者様に対して、尊厳のある言葉遣いを徹底し、気持ちのこもった対応が出来る。	・個別に職員と管理者との面談を行い、注意と指導を行う。 ・接遇委員会が中心となり、定期的な勉強会を開催する。 ・認知症のご利用者に対しての理解を深める。 ・月1回のユニット会議で、不適切な発言や対応が無かったかの振り返りを行う。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。